

# 白岡遺産活用シンポジウムを開催します

皆さんは、「文化財保存活用地域計画」をご存知ですか？

平成30年の文化財保護法の改正に伴って、各自治体は、特徴ある地域の文化財を指定、未指定の区別なくストーリーやキーワードなどで関連付けて一体のものとして保存・活用し、まちおこしや地域づくりに活かすことができるようになりました。

白岡市では、令和3年7月の国の文化審議会での承認を目指して「白岡市文化財保存活用地域計画」を作成し、地域の文化財を活用しながら保存する方法を検討しています。そのためには、地域のことをよく知る市民の皆さんとともに地域文化財の保存と活用を考えることが重要です。

この計画の中核をなす5つのストーリーで結ばれた「関連文化財群」も、市民参加のワークショップでまとめられたものを基礎としています。この5つのストーリーを『白岡遺産』と名づけて市民の皆さんとともに守り、活用していきたいと考えています。

国宝のお城がなくても、重要文化財の仏像がなくても、白岡には「白岡らしさ」を醸し出す伝統や文化がしっかりと息づいています。

これらの文化財群を「いかに活用するか」について考えるシンポジウムに、皆さん、ぜひご参加ください。

文化財というと、古いお寺や神社に伝わる由緒ある巻物や刀、絵画などを想像する方が多いと思いますが、もっと身近なもの、私たちが郷土白岡になくしてはならない、これを残したい、と思うものは何でも「文化財」です。

例えば、「○△から見た□◎の風景」とか、「昔おばあちゃんから聞いた言い伝え」とか、ふるさとの川や雑木林、家の近所の庚申様、地域の話し言葉、職人技、お祭りのときに必ず出された料理などです。

単体では価値判断が難しくても、ストーリーで結び付けて一体のものとして考えたとき、地域を特徴付ける文化的価値に気付かされるものはたくさんあります。

- 1 日時** 2月7日(日) 午後1時30分
- 2 会場** 生涯学習センター〔こもれびの森〕集会室1・2
- 3 内容**
  - ・「白岡市文化財保存活用地域計画」の概要
  - ・基調講演「白岡遺産の活用について(仮題)」
  - ・市民ワークショップ成果報告「白岡遺産の活用事例」
  - ・シンポジウム「白岡遺産をいかに活用するか(仮題)」

**4 定員** 70名

**5 申込み・問合せ** 学び支援課文化振興担当 内線522

✉ [manabi@city.shiraoka.lg.jp](mailto:manabi@city.shiraoka.lg.jp)



令和2年9月19日(土)に開催した「白岡遺産キックオフフォーラム」の様子



「白岡遺産活用ワークショップ」の様子